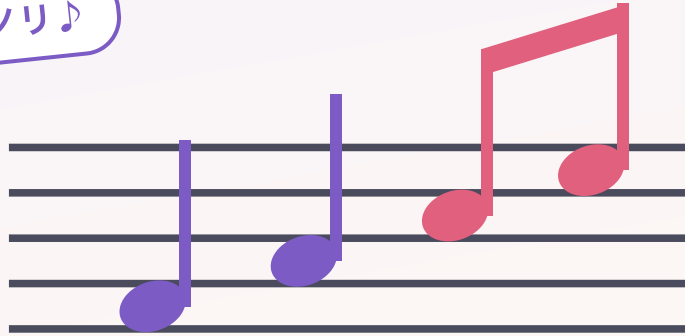


ノリノリ♪



口ずさんじゃう！

ポップス・ロック

今、いちばん身近に流れている音楽



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょ

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まりま

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

ポップス・ロックの入り口

3～12

今どきの音楽

13～19

練習しよう

20～24

ふり返り

25～30

ポップスとは

ポップスは、たくさんの人に親しまれるための音楽です。

ポップスとは、「ポピュラー (popular)」＝**広く親しまれる**という意味からきた音楽のジャンルです。

覚えやすいメロディと、くり返し聴きたくなる作りが特ちょうです。ラジオやテレビ、動画サイトなど、身近なところで日々流れています。



ポップスのキーワード

キャッチーな旋律

サビ

バンド編成

電子音

「ポップス」ははっきりしたジャンルというより、広く親しまれる音楽全体を指す言葉です。

ポイント

- 時代によって、はやる音の作り方や楽器がどんどん変わっていきます。
- ロックやヒップホップなど、いろいろなジャンルと重なり合っています。

やってみよう

1. ふだん、どんな場面でポップスを耳にしますか。

書いて覚えよう

rock

エレキギターや強いビートを中心にした、力強い音楽のジャンル

- ドラムのはっきりしたビートと、エレキギターの音が大きな特ちょうです。
- 反こうやエネルギー、自由さを表現する音楽として親しまれてきました。

1. 「力強い」と感じる音楽には、どんな特ちょうがあると思いますか。

一般社団法人文化芸術支援協会 | ポップス・ロック 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

ロックは、いくつかの音楽が混じり合って生まれました。

- 1950年代のアメリカで、ブルースやリズム・アンド・ブルース、カントリーが混じり合って生まれました。
- 電気で音を増ふくするエレキギターの登場が、大きなきっかけになりました。
- 若い世代を中心に、あっという間に世界中に広まっていきました。

1. 新しい音楽が生まれるとき、どんな要素が混じり合うと思いますか。

バンドの編成

多くのロック・ポップスは、決まった楽器の組み合わせで演奏されます。

ボーカル

vocal

歌を担当する、バンドの主役

エレキギター

electric guitar

メロディや和音を鳴らす、中心的な楽器

ベースギター

bass guitar

低音でリズムと和音をささえる

ドラム

drums

全体のビートをきざむ

ポイント

- この4つの組み合わせが、もっとも基本的なバンド編成です。
- キーボードやシンセサイザーが加わることもよくあります。

やってみよう

1. バンドを組むとしたら、あなたはどの楽器をやりたいですか。

書いて覚えよう

電気の力で、ギターの音は大きく変わられます。

electric guitar

弦の音を電気信号に変え、アンプで鳴らすギター

- アンプという機械につなぐことで、音を大きくすることができます。
- 「エフェクター」という機器を使うと、音をひずませたり、響かせたりできます。
- 同じ弾き方でも、機器の使い方しだいで全くちがう音色になります。

1. 「ザラザラした音」「きらきらした音」、それぞれどんな場面に合うと思いますか。

書いて覚えよう

verse

物語を語り始める、曲の入り口の部分

pre-chorus

サビへ気持ちを高めていく部分

chorus

曲でいちばん盛り上がる、印象に残る部分

- 「A×O→B×O→サビ」の流れをくり返すのが、よくある組み立てです。
- この形を知っていると、初めて聴く曲でも展開が予想しやすくなります。

1. 好きな曲を思い出して、サビがどこにあったか考えてみよう。

言葉と音が結びつくと、心に強く残ります。

- 自分の気持ちに近い歌詞に出あうと、より曲に親しみを感ずります。
- 同じ言葉をくり返すことで、耳に残りやすくなる工夫もよく使われます。
- 言葉のリズムと、メロディのリズムを合わせることも大切にされています。

1. 好きな歌詞のフレーズを1つ、思い出して書いてみよう。

ワンポイント 自分で歌詞を書くときは、まず短いフレーズから始めると作りやすくなります。

体を動かしたくなる、リズム中心の音楽もあります。

dance music

おどるための、一定で強いビートを中心にした音楽

- 一定のビートが続くことで、体でリズムに乗りやすくなります。
- クラブやパーティーなど、みんなで楽しむ場面でよく使われます。

1. 一定のビートに合わせて、足で拍を取ってみよう。

ヒップホップとR&B

言葉のリズムと、なめらかな歌声を大切にした音楽です。

ヒップホップ

hip-hop

1970年代のアメリカで生まれた、リズムに合わせて
言葉をのせる音楽文化

R&B

rhythm and blues

なめらかで感情豊かな歌声が特ちょうの音楽ジャンル

ポイント

- ヒップホップは、言葉をリズムに乗せる「ラップ」が大きな特ちょうです。
- R&Bは、ブルースから発展し、歌声の表現力を大切にしてきました。
- どちらも、その後のポップス全体に大きな影響をあたえています。

やってみよう

1. 言葉をリズムに乗せて、自分の名前を言ってみよう。

書いて覚えよう

synthesizer

電子的に音を作り出す鍵盤楽器

- 自然の楽器にはない音色を、自由に作り出すことができます。
- 今のポップスの多くは、コンピューターを使って音を組み立てています。

1. 生の楽器の音と、電子的な音、それぞれの良さを考えて書こう。

一般社団法人文化芸術支援協会 | ポップス・ロック 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

- 録音とちがい、演奏者と聴く人が同じ空間と時間を共有します。
- みんなで一緒に歌ったり、手をたたいたりする一体感が生まれます。
- 音のずれや会場の反応など、ライブならではの味わいがあります。

1. ライブに行ったことがあれば、印象に残ったことを書こう。

音楽ビデオ

映像と音楽が結びつくと、伝わり方が大きく変わります。

ポイント

- 映像がつくことで、曲のイメージや物語がより伝わりやすくなります。
- ダンスや衣装、映像の色づかいも、曲の印象づくりの一部です。
- 今は動画サイトを通じて、世界中の人が手軽に見られるようになりました。

やってみよう

1. 好きな曲に映像をつけるとしたら、どんな映像にしたいですか。

書いて覚えよう

多くの人に届く曲には、いくつかの共通点があります。

- 一度聴いただけで覚えられる、シンプルで印象的なメロディが多くあります。
- サビをくり返し聴くことで、より好きになっていくこともよくあります。
- ラジオや動画サイトなど、多くの人の耳に届く場所があることも大切です。

1. 「覚えやすい曲」に共通していると思うことを1つ書こう。



好きなアーティストの、どんなところが好き？



歌声のあたたかさと、歌詞の言葉えらびが好きなんだ。

- 「声」「歌詞」「メロディ」など、好きな理由を分けて考えると伝えやすくなります。
- 人それぞれの好みがあってよく、正解はひとつではありません。

1. あなたが好きな音楽の、好きな理由を1つ書こう。

ポップスは世界中に広がり、これからも形を変えていきます。

ポップスは世界中に広がり、これからも形を変えていきます。

アフロビート

19

20

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

サビの盛り上がりを、体で表現してみよう。

- A (A×O役) 小さい声で、ゆっくり手拍子する
- B (B×O役) 少し大きく、テンポを上げて手拍子する
- A (サビ役) 大きな声と手拍子で盛り上げる
- B (合わせて) _____
- A (もう一度サビ) さらに大きく
- B (合わせて) _____

ポイント

- A×O・B×O・サビの流れを、声と手拍子の大きさに表現する遊びです。
- 盛り上がりの流れを体で覚えると、曲の組み立てがよくわかります。

ワンポイント サビの前に音量や人数を少しおさえると、サビの盛り上がりがより引き立ちます。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

聴きなれた音楽も、意識して聴くとちがって聴こえます。

つまずき

よくあること

なんとなく聴いて終わる

曲の構造を意識しない

好きな理由が言葉にできない

「なんとなく好き」で止まる

コツ

こうしてみよう

サビの場所を意識して聴く

曲の組み立てを聴く

「声・歌詞・リズム」で分けて考える

好きな理由を分解する

ポイント

- いつも聴いている曲でも、構造を意識すると新しい発見があります。
- 好きな理由を言葉にすると、友だちにも伝えやすくなります。

やってみよう

1. 好きな曲のサビの場所を意識して、もう一度聴いてみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

曲の組み立て

☐ Aメロ

物語を語り始める部分

☐ Bメロ

サビへ気持ちを高める部分

☐ サビ

いちばん盛り上がる部分

楽器・編成

☐ エレキギター

電気で音を増ふくするギター

☐ シンセサイザー

電子的に音を作る鍵盤楽器

ジャンル

☐ ヒップホップ

言葉をリズムに乗せる音楽文化

☐ R&B

なめらかで感情豊かな歌声の音楽

楽しみ方

☐ ライブ

その場でしか味わえない演奏体験

☐ 音楽ビデオ

曲に映像がついたもの

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、好きな曲の魅力がもっと説明しやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|---------|---|----------------------|
| サビ | ● | ● ア. 電子的に音を作る鍵盤楽器 |
| エレキギター | ● | ● イ. いちばん盛り上がる部分 |
| ヒップホップ | ● | ● ウ. 電気で音を増ふくするギター |
| ライブ | ● | ● エ. 言葉をリズムに乗せる音楽文化 |
| シンセサイザー | ● | ● オ. その場でしか味わえない演奏体験 |

2. 曲の組み立てを順番に3つ書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 曲でいちばん盛り上がる部分 → (サビ / Aメロ)
2. 電気で音を増ふくするギター → (エレキギター / アコースティックギター)

書いて覚えよう

好きな曲を1曲聴いて、1日をスタート

サビの場所を意識して聴く

一定のビートに合わせて足で拍をとる

好きな曲の歌詞を1行書き出す

聴いた曲の感想をノートに書く

家族に好きな曲を紹介する

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。
- 音量を上げすぎないよう気をつけながら楽しみましょう。

発表してみよう・感想を書こう

好きなポップス・ロックの曲を、人に伝えてみよう。

曲名

ジャンル

好きなところ

サビの印象

聴いてほしい人

Ken の例

曲名 好きな一曲／ジャンル ロック／好きなところ サビでギターが盛り上がるところ／サビの印象
力強い／聴いてほしい人 部活の仲間

感想を3文で書こう

① この曲は、～な感じがしました。② とくに、～のところが好きです。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

ポップス・ロックの世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

動画で

ライブ映像をじっくり見る

図書館で

音楽ジャンルの本を借りてみる

ライブへ

生演奏を聴きに行く

次のステップ

世界の民族音楽

またちがう音楽の世界を知る

曲の組み立て

好きな曲を分解して聴く

楽器

気になる楽器を体験してみる

ポイント

- この教材の次は「世界の民族音楽」。世界各地の音楽の旅へ出発します。

書いて覚えよう

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ 自分の言葉で書こう

1. ポップス・ロックとは、どんなものですか。 _____
2. この教材で、いちばん気になった言葉は？ _____
3. これから聴いてみたい音楽は？ _____

ポップス・ロックミッションカード

MISSION 1

好きな曲を1曲、サビに注目して聴く

MISSION 2

一定のビートに合わせて手拍子する

MISSION 3

好きな曲の歌詞を1つ書き出す

MISSION 4

好きな曲を友だちに紹介する

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

書いて覚えよう

ポップス・ロックチャレンジ

教室の外でも、ポップス・ロックはすぐに楽しめます。

見つけよう

町で流れているポップスをさがす

聴こう

ふだん聴かないジャンルを1曲聴く

表そう

好きな曲のサビを口ずさんでみる

こたえ

L26 サビ→イ エレキギター→ウ ヒップホップ→エ ライブ→オ シンセサイザー→ア 2. Aメロ / Bメロ / サビ 3. サビ / エレキギター

L33 (例) ポップス・ロックは、覚えやすいメロディと力強いビートで、多くの人に親しまれる音楽。

書いて覚えよう

ポップス・ロック (Season 6 | No.58)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。